



堰野端 展 雄
(自民公明クラブ)

学校でのアクティブ・ラーニングの 取組状況は

方針を示して

授業改善を指導

議員 学校でアクティブ・ラーニング(※)にどう取り組むのか。

※教員の一方的な講義形式の授業ではなく、児童生徒が能動的に考え学習する方法

教育長 新学習指導要

領の大きな目玉の一つなので、教育委員会で、学習のプロセスごとに、あるべき教員や子供の姿等を示したオリジナルの「とわたの学び」を令和元年度に各校へ配布し、その活用を学校訪問等で呼びかけ、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことに重点を置いて指導しています。

議員 現在の取組は、学校現場でうまく機能しているのか。

教育部長

児童生徒が活発に話し合う姿、深く考える姿がどの授業でも見られ、その成果が各種学習状況調査の良好な結果に表れているものと捉えています。

議員 学校では、がん教育にどう取り組むのか。

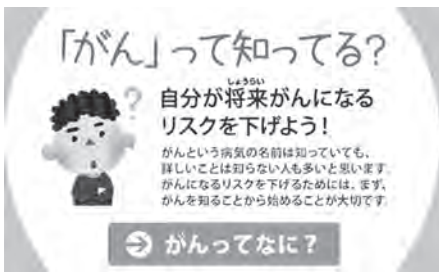
教育部長 新学習指導要領において、小学6

年の体育科保健領域で、長期の喫煙で肺がんや心臓病等にかかりやすくなること、中学3年の保健体育科保健領域で、食事の量や偏り、運動・睡眠不足等が生活習慣病等の要因となること、飲酒・薬物乱用等が心身に様々な影

響を与え、健康を損なう原因となることが明らかに沿った指導に取り組んでいます。

議員 教員のがんに対する知識の習得は、どのようにしているか。

教育部長 教師用指導書や関係機関配付の冊子、県の健康づくり事業報告書、情報サイト等で習得しています。



がんに対する知識を深めよう

不登校の児童生徒の数は

平成30年度は
小学生10人、中学生62人



山 端 博
(市民連合クラブ)

議員 小・中学校の不登校児童生徒数の過去5年間の推移は。

教育部長 (左表参照)

年度	小学	中学
平成26	11人	65人
平成27	7人	39人
平成28	6人	34人
平成29	9人	42人
平成30	10人	62人

議員 不登校対策の現状は。

教育部長 教育相談・適応指導事業、指導課職員による各校での対応協議、各校からの報告書の提出等の取組のほか、児童生徒個々に応じた支援を行っています。

議員 適応指導教室「若駒学習室」に通室している子の人数は。

教育部長 7人です。

議員 自宅で過ごしている子の人数は。

教育部長 公表していません。

議員 平成29年度から令和元年度までの第3次ごみ減量行動計画の取組状況と成果は。

民生部長 市民一人一日当たりのごみの削減量は目標に達していません。生ごみの減量を大きな課題と捉え、食材は使いきる、作った

料理は食べきる、生ごみは水気をきるの、3つの「きる」を周知するほか、下水道に流せるように生ごみを粉碎するデイスポータの周知、宴会時の食べ残しを減らすための3010運動等、啓発活動に取り組むことで、意識の醸成が図られてきたものと考えています。

議員 ごみの削減量の目標を達成していた場合、どれほどの経費削減効果があるのか。

民生部長 処理費用の削減額を単純に計算すると、約5千万円です。



ごみを減らして循環型社会へ転換を